

東北心理学会第 71 回大会にて自主企画ワークショップを行いました(2017/07/16)

テーマ：生きる力，学際研究

URL：<http://tpa71.la.coocan.jp/>

7月15日(土)～16日(日)の2日間，尚絅学院大学(宮城県名取市)にて，東北心理学会第71回大会が行われました。東北心理学会は，主に東北地方に在住する教育・福祉・司法・産業・医療等の関係者，その他の心理学に関心を持つ関係者の連絡をはかり，協力して心理学的諸問題の研究・解決にあたることを目的としています。第71回大会から，「自主企画ワークショップ」の制度が立ち上がり，16日(日)に当研究所の杉浦元亮教授(人間・社会対応研究部門)を代表とする，災害を「生きる力」研究プロジェクトからの自主企画ワークショップ「災害を生きる力：その基礎研究と応用」が企画・開催されました。同研究プロジェクトは，本学における「社会にインパクトある研究」に採択されています。同ワークショップでは，杉浦元亮教授から，同プロジェクトのコンセプト，キー概念である「生きる力」，プロジェクトの全体像の説明報告，佐藤翔輔助教(人間・社会対応研究部門)から「生きる力」尺度を災害・復興教育に応用した事例が報告されました。最後に，指定討論者として，邑本俊亮教授(人間・社会対応研究部門)と当研究所協力教員である阿部恒之教授(文学研究科)から，総括の質問・コメントがあり，閉会となりました。昼食時間帯にも関わらず多くの方にご参加いただいただけでなく，多くの質疑・コメントをいただき有意義な会となりました。

話題提供者：杉浦元亮(東北大学 加齢医学研究所／災害科学国際研究所)

山崎翔平(東北大学大学院 医学系研究科)

佐藤翔輔(東北大学 災害科学国際研究所)

指定討論者：邑本俊亮(東北大学 災害科学国際研究所)

阿部恒之(東北大学 文学研究科)

企画代表・司会：杉浦元亮(同上)

※下線は所内構成員。



杉浦元亮教授



佐藤翔輔助教



邑本俊亮教授

文責：佐藤翔輔(情報管理・社会連携部門)